

高齢者  
福祉課

## 市長が長寿者を表敬訪問

100歳以上の方に敬老祝金を贈呈

木山耕三市長が、10月、長寿を祝福し敬老の意を表するため、市内の百歳以上の長寿者を訪問し、敬老祝金を手渡しました。あわせて、本年度中に満百歳を迎える方（基準日／9月15日の「老人の日」）に贈られる内閣総理大臣からのお祝い状と記念品の銀杯を手渡しました。

本年度の敬老祝金贈呈対象者（大正6年3月31日以前に生まれた方）は77人（男性9人・女性68人）、市内最高齢者は女性が満106歳の方、男性が満102歳の方となっています。



100歳のお祝い状を受け取る村田マサノさん（東城町）

危機  
管理課

## 地域防災力向上を目指す

平成28年度庄原市総合防災訓練

市と市消防団ならびに備北地区消防組合の主催により、11月20日、東城中央運動公園周辺一帯で、平成28年度庄原市総合防災訓練を実施し、官公署をはじめとする6団体、約200人が参加しました。

訓練は、記録的集中豪雨により、市内各地で多数被害が発生しているという想定で行われ、避難訓練をはじめ、建物火災防ぎょ訓練、負傷者搬送訓練、非常食炊き出し訓練など全10種目の訓練を実施しました。

訓練終了後の講評で、備北地区消防組合庄原消防署の熊野美博署長は「災害は規模が大きくなるほど、救助や支援の遅れが想定される。各機関で連携を密にして備えたい」と話しました。



救助訓練の様子

教育  
指導課

## 読書の魅力発信！言葉の力に感動

庄原市教育フォーラム

10月29日、「読書活動」をテーマに庄原市民会館で教育フォーラムを開催し、約600人が参加しました。

まず、高小学校全校児童が「古典の名文暗唱」を披露し、日本の古き良き美しい言葉や伝統ある作品などの名文を、言葉を大切にしながら胸を張って発表しました。

続いて、市内7つの中学校からそれぞれ1人の生徒が出演し「書評合戦（ビブリオバトル）」を行いました。これは、互いのお気に入りの本を紹介し合うもので、読書の楽しさや魅力、本や言葉の素晴らしさなどについて、5分の持ち時間を目いっぱい使い、それぞれが自分の思いを熱く語りました。小・中学生が堂々と自分の思



高小1年生による名文暗唱「いろはうた」



中学生による書評合戦（ビブリオバトル）



「子ども司書」養成講座作品展示

いを表現する姿に会場から大きな拍手が送られ、来場者も「一番読みたくなった本」に投票しました。

最後に、フリーアナウンサーの神田康秋さんが「どっこい神田の読書人生 夢を学べば夢が叶う」と題して、読書から学んだ生き方や、夢に向かってあきらめず行動することの大切さなどについて、アナウンス実況も交えながら、笑いあり涙ありの講演をしました。

また、ロビーでは、読書活動を推進する子どもリーダーを育てる「子ども司書」養成講座の活動紹介、作品展示を行いました。参加者からは「読書について考えるとても良い機会になった」「中学生が紹介した本は全て読みたい」などの声が聞かれました。